

平成23年度飛騨市教育委員会点検評価結果

1, 点検評価の対象 平成22年度飛騨市教育委員会の事務の管理及び執行の状況

2, 点検評価会議の期日 平成23年8月31日(水)

3, 点検評価会議の場所 飛騨市役所西庁舎会議室1

4, 点検評価会議の出席者

飛騨市教育委員長	泉 正樹
飛騨市教育委員	和仁 憲一郎
飛騨市教育委員	田口 理子
飛騨市教育委員	柚原 一仁
教育委員会事務局長	藤井 義昌
〃 国体推進室長	谷口 富之
〃 学校教育課長	益田 正己
〃 生涯学習課長	田中 吉久
〃 文化振興室長	佐藤 康雄
〃 給食センター長	村上 幸春

5, 点検評価委員

重盛 一哉	(飛騨市社会教育委員長)
幅 雅久	(宮川小学校評議員)
井之口 藤男	(古川中学校評議員)
新名 正浩	(飛騨市PTA連合会長)
久保田 美佐	(飛騨市PTA連合会母親代表)
向島 昌雄	(飛騨市文化協会長)
水川 政之	(飛騨市体育協会長)

6, 点検評価の方法

22年度個別事業の管理及び執行状況について、事務局が作成した事業別事務点検評価資料に基づき、教育に関し学識を有する者で構成する点検評価委員に対して平成23年8月22日に説明を行い、その自己評価が妥当であるかについて8月29日に意見を聴取した。

その後、8月31日の点検評価会議で評価についての最終決定を行った。

7, 点検評価の結果

別添「平成22年度 飛騨市教育委員会点検評価資料」のとおり

平成 2 3 年飛驒市教育委員会事務点検評価資料

平成 2 2 年度分事務事業の執行状況

平成 2 2 年度分自己点検評価シート

飛驒市教育委員会

様式第1号（第4条関係）

教育委員会の活動状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

項 目	実 績	成 果 ・ 課 題	評価
教育委員会会議の 活動状況	・開催回数 11回 ・審議件数 議案 54件	・教育関係の案件について、議論を重ね、飛騨市の教育行政や学校経営等について、今後、更なる向上を図られた。	A
協議会の討議状況	・開催回数 10回 ・審議件数 26件 ・教育委員会事務局の人事異動について ・高校入試の結果について ・小中学校の卒業式及び入学式について ・教育委員会後援名義について ・市立学校の学級担任・教科担任について ・異文化体験推進事業について ・教育委員の学校訪問について ほか	・各種の教育関連の協議事項を協議し、今後の飛騨市の教育行政について、よりよい方向づけが図られた。	
教育委員の調査 活動状況	・小中学校の卒業式・入学式への列席（平成22年4月及び23年3月） ・小中学校の学校訪問（平成22年10月・11月） ・小中学校の運動会・体育祭訪問（平成22年9月）	・学校行事・学校訪問を実施し、現場での児童生徒や教員等を直接見ることにより学校現場の課題等を把握でき、今後の会議等の参考となった。	
その他の活動	・岐阜県市町村教育委員会定期総会 ・岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会	・研究総会等に参加し、県内の状況や実態を把握することが出来た。	

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
地域発展のための人材定着事業	定住促進事業	育英資金償還者 地元就職補助事業	教育総務課	・ 地元就職された育英資金償還者に対し、年間償還額の2分の1の助成を実施した。 償還者 97名 該当者 21名 総 額 3,037,700円	成果 ・ 広報誌や市HPを活用し、貸付時にこの制度をPRしており、就職活動の際に地元就職へ選択の一助となることを期待している。 課題 ・ 近年の貸付件数の増加に伴い、将来の制度利用該当者の増加が見込まれるため、今後交付額も増大していく。	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	スクールバス購入事業	河合地区宮川地区から 古川中学校通学用バス の購入	教育総務課	・宮川線 大型1台 ・稲越線 マイクロ1台	(成果) 平成23年4月からの古川中学校への通 学手段が確保された。 (課題) 運航ダイヤについて、実施後の状況によ り、必要があれば見直しを行う。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	小学校施設改修事業	古川小学校 ・改築事業	教育総務課	・校舎棟建設工事 体育館棟建設工事 外構整備工事 施工監理業務委託	・校舎の竣工により耐震性が確保された。	A
		河合小学校 ・設計業務		・校舎大規模改造設計業務委託 ・体育館耐震補強設計業務委託	・設計業務が完了した。	A
		宮川小学校 ・設計業務		・校舎大規模改造設計業務委託 ・体育館改築設計業務委託	・設計業務が完了した。	A
		古川西小学校 ・校舎耐震補強 ・体育館建築		・校舎耐震補強・大規模改造工事（繰越） ・体育館設計業務委託	・耐震補強で校舎の耐震性が確保された。 ・体育館の設計業務が完了した。	A A
		山之村小中学校 ・校舎耐震補強		・耐震補強工事（繰越）	・耐震補強で校舎の耐震性が確保された。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	中学校施設整備事業	古川中学校 ・北舎改築工事	教育総務課	・北舎建設工事 鉄骨造2階建て 1722㎡ ・外構整備工事 バスロータリー、駐車場	・北舎が竣工し校内全ての建物の耐震性能が確保された。 ・外構工事によりバスロータリーが完成し、生徒の安全性が向上した。	A
		河合中学校 ・体育館耐震補強事業		・補助制度を文部科学省から国土交通省へ変更し、実施年度も23年度へ変更したため、実績なし	・平成23年度に実施	—
		宮川中学校 ・校舎耐震補強工事		・校舎耐震補強工事 RC造3階建て 1484㎡	・耐震性が確保され、地震に対する安全性が高まった。	A
		神岡中学校 ・南舎耐震補強工事		・南舎耐震補強工事 RC造4階建て 2,862㎡ RC造3階建て 841㎡	・耐震性が確保され、校内全ての建物の耐震性が確保された。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
児童生徒に確かな学力をつける指導の充実	児童の力を伸ばす少人数指導の充実	小学校3年生の少人数学級配置事業 義務教育の初期の段階で、基本的な学習習慣や生活習慣等のきめ細かい指導を行う。	学校教育課	<古川小学校3年生> 通常学級児童数 107名 国の基準による学級編制では、1学級あたり40人編制となり、3学級（1学級35、36、36人）となる。 ↓ 本事業による学級編制では、1学級あたり35人編制となり、4学級（26、27、27、27人）となり、1学級あたり8～10人減。 [H22決算額] 2,690千円	◎3年生時も、1、2年生時と同じ学級編制で、国の基準による学級編制よりも1学級あたりの児童数が8～10人減となり、個に応じた適切な指導を行い、一人一人の子どもを確実に十分に見届けることができた。 ▲これまでのクラス替えは6年間で2回であったが、本事業では3回実施することとなる。ただし、児童生徒、保護者等からの苦情は受けていない。 [これまで] ・クラス替え6年間で2回。 1回目：2年次→3年次 2回目：4年次→5年次 （1・2年、3・4年、5・6年は同じ仲間と生活してきた。） ↓ [本事業] ・クラス替え6年間で3回。 1回目：2年次→3年次 2回目：3年次→4年次 3回目：4年次→5年次 ▲3年生1学級増により市費負担講師は配置されるが、市費負担講師は学級担任となることはできない。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
学 ぶ 楽 し さ あ ふ れ る 学 校 づ く り	「生きる智慧」を育む教育活動の充実	特色ある教育経営推進事業交付金	学校教育課	○古川小 ミュージカル鑑賞、清掃意欲向上活動、合鴨農法米作り 等 ○古川西小 オケ演奏鑑賞、プロ劇団観劇 ○河合小 ふるさと体験学習、全校登山 ○宮川小 郷土ものづくり体験、自然観察体験、自立生活体験 ○神岡小 外国語教材・教具の開発と活用、外国語活動公表会 等 ○山之村小中 きつねつり・山っこ獅子継承活動 等 ○古川中 問題データベース導入、研修旅行発達障がい児支援 ○河合中 名古屋音大生合唱交流、NHK合唱コンクール等参加 等 ○宮川中 全校劇づくり、ミョウガ栽培活動、郷土の生活文化学習 等 ○神岡中 30km健脚大会、職場体験、平和学習講話 等 〔H22決算額〕 小学校 2,303千円 中学校 2,040千円	◎様々な地域との交流等により、郷土を見つめ直し愛着を持てる児童生徒が増えた。 ◎独自の学力問題の活用、小学校における外国語活動の充実等、学力向上を図る新たな試みができた。 ◎自己表現力を育成するためプロの演奏や演劇を生で体感し、児童生徒がそれぞれに感じ取り、自己啓発を図ることができた。 ◎30km健脚大会、全校登山等、仲間と共にやり抜くことで、強い心と思いやりの心が育まれた。 ▲それぞれの活動を学校経営方針に位置付け、子どもに身に付いた姿として成果を示し、さらに地域に発信していく必要がある。	A

重点 施策	重点 目標	平成 2 2 年度の目標	担当課	平成 2 2 年度の実績・成果と課題				評価
				実績				
学 ぶ 楽 し さ あ ふ れ る 学 校 づ く り	部 活 動 の 充 実	運動部活動等外部指導者 活用促進事業 部活動担当教員と外部指 導者の連携・協力により 、指導者としての資質向 上を図るとともに、部活 動を通じての生徒の健全 育成を推進する。	学 校 教 育 課	〔部活動外部指導者数・年間指導回数〕				◎部活動担当教員と連携、 協力しながら部活動を指 導することで、生徒の技 能向上及び健全育成を推 進することができた。 ◎部活動担当教員の指導力 を向上させることができ た。 ▲一部の部活動では、外部 指導者が有効に位置付く ように計画を改善する必 要がある。
				学校名	部名	人数	回数	
				古川中	サッカー、野球、 ソフトボール、吹 奏楽、バス、 テニス、卓球、 柔道、合唱	20 人	384 回	
				神岡中	野球、バレー ボール、バスケット ボール、スキー、 卓球、剣道	9 人	172 回	
				宮川中	卓球、剣道	3 人	26 回	
				河合中	バレーボール、 スキー、剣道	4 人	31 回	
				山之村中	スキー	2 人	12 回	
				計		18 人	625 回	
				〔H22決算額〕 1, 000千円				

重点 施策	重点 目標	平成 2 2 年度の目標	担当課	平成 2 2 年度の実績・成果と課題				評価
				実績			成果・課題	
学 ぶ 楽 し さ あ ふ れ る 学 校 づ く り	特 別 支 援 教 育 を 通 し た 学 級 環 境 の 充 実	児 童 生 徒 支 援 員 の 配 置 及 び 支 援 員 研 修 事 業	学 校 教 育 課	〔具体的な支援員の配置状況〕			◎通常学級に在籍している発達障がいのある児童生徒に寄り添い適切な支援や継続的な指導を行うことにより、落ち着いて授業に取り組み、発言したり、分からないことを友達に尋ねたりすることができるようになってきた。 ◎障がいのある児童生徒、学級全体、そして学校全体が落ち着いて学習に取り組むことができるようになった。 ▲より効果的な支援ができるために研修会を年間 4 回実施しているが、拠点校を中心に研修の充実を図る必要がある。	
					H21 年度	H22 年度		H23 年度
				古川小	7 人	7 人		7 人
				古西小	5 人	5 人		5 人
				河合小	1 人	1 人		1 人
				神岡小	7 人	7 人		7 人
				古川中	3 人	3 人		2 人
				宮川中	1 人	1 人		
				神岡中	2 人	2 人		2 人
				計	26 人	26 人		24 人
〔H22決算額〕								
小学校	16,981千円							
中学校	5,326千円							

重点 施策	重点 目標	平成 2 2 年度の目標	担当課	平成 2 2 年度の実績・成果と課題		評価																
				実績	成果・課題																	
学 ぶ 楽 し さ あ ふ れ る 学 校 づ く り	児 童 生 徒 の 学 ぶ 環 境 づ く り の 推 進	産休・病休等引き継ぎ 支援事業	学 校 教 育 課	[引き継ぎ支援人数]		◎産前休暇を取得する担任の学級へ、1ヵ月前から支援に入ること で、児童の様子を観察したり 指導支援を行ったりする中で、 児童の実態やそれまで担任が行 ってきた指導を理解することが でき、スムーズに引継ぎができ 産休後の代替担任としての指導 に生かすことができた。 ◎病気休暇を取得する状況になっ たときに、本事業で配置できた ことにより、担任が休暇取得後、 代替担任としての指導に生かす ことができた。																
				<table><tr><td>学校名</td><td>産休 引き継ぎ</td><td>病休 引き継ぎ</td></tr><tr><td>古川小</td><td>1 人</td><td></td></tr><tr><td>河合小</td><td>1 人</td><td>1 人</td></tr><tr><td>神岡小</td><td>2 人</td><td></td></tr><tr><td>古川中</td><td>1 人</td><td></td></tr><tr><td>宮川中</td><td>1 人</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>6 人</td><td>1 人</td></tr></table> 計 7 人 [H22決算額] 680千円 小学校費 500千円 中学校費 180千円	学校名		産休 引き継ぎ	病休 引き継ぎ	古川小	1 人		河合小	1 人	1 人	神岡小	2 人		古川中	1 人		宮川中	1 人
学校名	産休 引き継ぎ	病休 引き継ぎ																				
古川小	1 人																					
河合小	1 人	1 人																				
神岡小	2 人																					
古川中	1 人																					
宮川中	1 人																					
計	6 人	1 人																				

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
豊かな心の育成	異文化体験推進事業	中学生海外派遣事業	学校教育課	◎言葉の壁を感じながらも、生徒は自ら働きかけていくことの大切さに気づき、積極的にコミュニケーションを図ることができた。		A
		海外の文化に触れることで、ふるさとの良さを再認識し、ふるさと自慢ができる子どもを育てる。		◎自分の研修テーマ（環境問題、文化の違い、食習慣など）について、チリワック市長、ホストファミリー、訪問校で一緒になった生徒などに質問し、自分なりの答えを得ることができた。		
					◎現地生活を体験する中で、改めて日本・飛騨について考えることができた。相手を理解し受け入れることが他人と付き合っていく上でとても大切で、日本でも是非広めたいという思いを持った生徒、逆に改めて食文化など日本の良さに気づいた生徒もたくさんいた。	
					※第二次総合計画により平成23年度から廃止。	

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	生涯学習講座 （公民館講座） 市民の「教えたい」という気持ちを具現化するべく、市民提案型の公民館講座を実施する。 「各種団体・サークル紹介」を掲載したチラシを各戸に配布し、飛騨市内における生涯学習活動を広く市民に紹介する。 名人登録を行い、情報提供を行う。	生涯学習課	○実施講座 32講座 ・前期講座 企画31講座 実施22講座 ・後期講座 企画14講座 実施10講座 ○参加人数 延べ1,640名 （主な講座） ・カラオケ教室 ・絵手紙教室 ・水彩画教室 ・歴史講座 ・手話教室 ・語学（中国語・英語） など ○各種団体・サークル紹介 41団体の紹介 ○名人の登録（随時） ○飛騨市文化協会との連携 講師情報を提供し、文化協会が公民館講座を継続する形で講座を開設した。	成果 ・市民が有する知識や技能を活かし、活躍する場を提供することができた。 ・趣味や教養を身につけるための生涯学習の場を提供できた。 ・各種団体・サークル紹介により、活動をPRすることができた。 課題 ・誰でも講師になれるため、講座の質が保証できない。 ・講師の提案により講座を提供するため、講座内容や地区ごとの開講数に偏りが生じる場合がある。	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	高齢者学級 高齢者を対象に、ふれ合いや学ぶ喜びを大切に、年齢にあったふさわしい社会的能力を高める場として開催する。	生涯学習課	飛騨市4町において高齢者学級を開設 ○神岡町 月1回 年8回 募集制 講演会・映画鑑賞・健康体操 バスに乗車して地域研修 ○河合町 年2回 老人クラブ会員 講演会 ○宮川町 年2回 老人クラブ会員 講演会・映画鑑賞・健康体操 ○古川町 月2～4回 募集制 園芸・ダンス・郷土史・手芸・囲碁の 5教室を開催	成果 ・高齢者が集い・学び・交流する場として定着し、参加者にも好評である。 ・人生講座、健康に関わる講座、郷土の歴史講座など、身近なテーマを取り上げ、生きがいに繋げることができた。 ・交通安全講座、防災講座、振り込め詐欺・悪徳商法の対処法などなど社会の変化に応じた学びの場を提供することができた。 課題 ・活動形態が4町で異なるため、回数等の統一が難しい。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	生涯学習推進会議 生涯学習関係団体と連携しながら生涯学習施策を推進するため、願いの共有と活動の共通理解を図る。	生涯学習課	◇運営委員会の実施（3回） ◇部会（各部3回程度、研修会の開催） ＜子育てネットワーク部会＞ ・子育て講演会の開催他 ＜青少年健全育成・地域ぐるみの道徳部会＞ ・地域ぐるみの道徳教育公表会への参加他 ＜文化・芸術振興部会＞ ・文化行事案内チラシの発行 各地域の例祭の映像保存他 ＜生涯スポーツ振興部会＞ ・スポーツ講演会の開催 他 ◇生涯学習推進大会の開催 第1部 各部会の実践発表（4部会） 第2部 基調講演会 「生涯学習と住みよいまちづくり」 講師 宮脇 恭顕 氏	◎家庭・職域・年齢等、立場の違いを越えて意見交換を行い、関係諸団体に願いを共有したり活動の共通理解を図ったりすることができた。 ◎部会ごとに交流を深めることにより、飛騨市の現状を浮き彫りにし、積極的に啓発していく活動が展開されるようになった。 ▲各部会単位内では、情報交換や課題の共通理解を得ることができたが、部会間での連携が弱い。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
家庭教育の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	家庭教育学級 家庭が本来果たすべき役割を改めて見つめ直す機会となるよう小中学生の保護者が子どもの発達段階に応じて家庭教育の意義と役割を保護者自身が学習したり親子でふれ合ったりできる場を提供する。	生涯学習課	飛騨市内の小中学校10校が、すべてPTAを主体としながら、自主的に家庭教育学級を実施することができた。 <講演会> ・食育（弁当の日） ・健康（歯科医） ・進路（高校教諭・ライフプランナー） ・中学生の心（心理士・カウンセラー） ・福祉（手話通訳士） ・社会教育（人権） ・ネット犯罪（県職員） ・芸術鑑賞（音楽・影絵） <親子活動> ・環境整備作業 ・見守りシート ・星空観察 ・もちつき ・スポーツ大会 ・ミョウガ収穫 ・カレー作り ・お菓子作り ・木工教室 ・キャンプ ・そば打ち体験	成果 ・各校に家庭教育学級担当職員、各PTAに家庭教育学級担当を位置づけていただき、計画的・継続的な活動が展開された。 ・計画段階から支援したり、計画書と報告書の提出を義務づけたりすることで各校とも活動内容が充実した。 ・親子活動では、地域ごとに特色あるテーマをとりあげ、親子のふれあい活動とともに、地域の素晴らしさを再確認することが出来た。 課題 ・金額的な問題から、希望する講師を招くことができないことがある	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
家庭教育の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	親子ふれあい講座 『親子はり絵教室の開催』 【目的】 飛騨市における文化・芸術の振興と交流を推進するため、芸術機会の提供（親子のふれあい・プロによる指導）を行い、町の将来像「文化が薫る活力とやすらぎのまち」の達成に寄与する。	生涯学習課	『親子はり絵教室』 期 日 平成22年8月3日（火） ～8月5日（木） 19:00～21:00 会 場 飛騨市図書館 にじのひろば 講 師 井上 あき子 内 容 親子ではり絵を制作 参加者 親子16組 （子ども21名、保護者16名）	成果 小学生とその保護者を対象に行った。 色紙を使い、最初は野菜をモチーフに、はり絵の基本的技法を学び、二枚目以降は自分の好きな対象（キャラクター・絵本等）を題材に、はり絵を制作した。 親子で身近な素材を使って表現することを体験できた。 課題 ・大人からの参加要望も多く、今後大人を対象とした教室も企画できるとよい。 ・リピーターが多いので、内容を変えて開催すると良いのではないかな。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
家庭教育の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭教育力向上	親子ふれあい講座 『親子絵画教室の開催』 【目的】 飛騨市における文化・芸術の振興と交流を推進するため、芸術機会の提供（親子のふれあい・プロによる指導）を行い、町の将来像「文化が薫る活力とやすらぎの町」の達成に寄与する。	生涯学習課	『親子絵画教室』 期 日 平成22年11月8日（日） 10:00～15:00 会 場 古川民芸会館 講 師 松元 慶子、宮原 一美 内 容 （午前）ランプシェード作り （午後）屋外スケッチ ＊彫刻美術館周辺を描く 参加者 小学生とその保護者 12組 29名 （子ども17名、保護者12名）	成果 ・参加者が増加した。午前と午後を別メニュー（絵画と工作）にしたことで、集中力を持続させることができた。 ・ランプシェード作りでは素材選びの工夫と立体構成を、屋外スケッチでは対象をじっくり観察し表現する（形や色）ことを学んだ。 ・芸術をとおして、親子の交流が図れた。 課題 4町毎に開催できるとよい。	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
家庭教育の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	ふるさと創作絵本 第4集	生涯学習課	・ふるさと創作絵本作成実行委員会（委員12名）において第4集を作成した。 ・52ページ、5話集録、500冊作成 ・実行委員会1回（6/14） ・編集会議6回 （6/14.29 8/3 9/8 10/18 11/17） ・校正会議3回（1/14 2/2.29） ・手作り絵本講習会3回 （親子：7/1 神岡：3/26 古川：3/27） ・各機関へ寄贈配布300冊 ・販売開始200冊 ・経費内訳 委託料：1,090千円	成果 ・市内の保育園、小中学校、高校、図書館、子育て支援センター、福祉施設等に配布し、読み聞かせや貸し出しを行っている。 ・第1～3集とともに販売を行っている。 課題 ・寄贈配布後の積極的な活用方法を検討する。 ・積極的な販売促進を行う。	A
		ふるさと創作絵本「第4集」を作成し各機関に寄贈配布、販売する。				

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	異文化体験・高校生海外研修 ・ 高校生という多感な時期に海外研修を実体験させることにより、飛騨市に関わる若者の教育と人材育成を進める。 ・ 市内の高校に通う生徒及び市外の高校に通う市内在住の生徒に募集を行う。	生涯学習課	・ 飛騨神岡高校から2名、吉城高校から3名、市外の高校に通う市内在住の生徒が3名の計8名を派遣 ・ 事前説明会（7/22） ・ 市長激励会（8/13） ・ 経費内訳 委託料：2,576千円	成果 ・ イギリスでの異文化体験と、大学での質の高い語学研修 課題 ・ 高校生の授業や部活動に支障がないよう夏期休暇中に実施するが、夏期休暇の間は航空券が高く、経費がかかる。	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	青少年育成市民会議	生涯学習課	6/19 少年の主張大会 会 場：古川町総合会館 出場者：小中学生各8名 - 地域のおじさん、おばさん運動加入促進運動 新規加入者：104名 - 啓発活動「広報ひだ」 7月号：青少年の非行問題に取り組む 全国強調月間 11月号：全国青少年健全育成強調月間 1月号：家庭の日普及実践強調月間 - 県民大会等参加：11月、1月 - 生涯学習推進会議（青少年健全育成・地域ぐるみの道德教育部会）との連携 - 地域ぐるみの道德教育公表会への参加：4校	成果 各種団体が青少年の健全育成に向け、共通認識を持つことができ、連携を深めることができた。	A
		市内の関係機関・団体との連携を密にし、青少年の健全な育成を図る			課題 青少年の健全育成に向け、家庭・学校・地域が共通認識を持ち、お互いに手を取りあい一体となって取り組むことの重要性や必然性を徐々にではあるが再認識できつつある。今後も継続して行う。	

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	青少年育成推進員活動	生涯学習課	組織：飛騨市青少年育成推進連絡協議会があり、 その中に各町で組織する部会がある (4部会) ○ 青連協 会議：1回(7/14) 役員会：2回(6/22、1/31) ○ 古川部会 ・ 会議：3回(4/28、5/12、8/20) ・ ふれあい集会：全体会議(6/8) 地区会議21カ所 (6/26～8/7) ・ 地域ぐるみの道徳教育公表会： (10/23 古川小学校) ○ 河合部会 ・ 会議：3回(5/18、6/9、11/24) ・ こころの教育を語る会：(7/7) ・ 地域ぐるみの道徳教育公表会 ：(12/4 河合中学校) ○ 宮川部会 ・ 会議：3回(5/18、6/10、10/26) ・ 心のひろば：(7/16) ・ 地域ぐるみの道徳教育公表会 ：(11/27 宮川小学校) ○ 神岡部会 ・ 会議：2回(5/19、10/20) ・ 街頭指導(補導員・警察署合同)：(7/24、8/5) ・ 地域ぐるみの道徳教育公表会 ：(10/30 神岡中学校) ・ 街頭パトロール：(6/26、12/19)	成果 各種団体が青少年の健全育成に向け、 共通認識を持つことができ、連携を深め ることができた。 課題 青少年の健全育成に向け、家庭・学 校・地域が共通認識を持ち、お互いに手 を取りあい一体となって取り組むこと の重要性や必然性を徐々にではあるが 再認識できつつある。今後も継続して行 う。	A
		青少年の健全育成は、家 庭・学校・地域の連携強 化により、一体となって 取り組むということで、 三者がそれぞれ活動する のではなく、お互いに手 を取り合い活動する				

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	子ども会の育成	生涯学習課	○飛騨市内子ども会員数 古川町 1,442名 河合町 102名 宮川町 80名 神岡町 599名 ○各町の行事 古川町：小学校高学年と。中学生を対象に、2回交流会を開催 河合町：子ども会員を対象に、8月に交流会（ふれあい広場）を開催 宮川町：子ども会員を対象に、11月に交流会（ふれあい広場）を開催 神岡町：子ども会員を対象に、球技大会とあそびの広場を開催 ○市子ども会の活動 10月に交流会を開催した。毎年市内4町のうち1町を会場として行っている。 また7月には指導者研修会を行い、各地区の事業紹介や講演を行う。	成果 ・各町の育成会を中心に、1～2回、小中学生を対象に、リーダー養成を目的とした行事を行った。 課題 ・少子化により、子ども会の数が減ってきているため、子ども会の合併を進める。 ・本来子どもを中心にして行われる会であるにも関わらず、大人を中心に行事等を行っている。総会等で、子ども会運営について理解していただくと共に、本来の子ども会活動へ繋げる。	A
		【目的】 子ども会の組織の発展ならびにその活動の促進充実を通じて、児童生徒の健全育成を図ることを目的とする。				

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化・芸術の推進	地域文化の保存・伝承	文化協会補助金 飛騨市の目標である「文化が薫る活力とやすらぎのまち」を実現するために文化協会が果たす役割は多大なものがあるため、市民主体の文化活動を補助し組織を強化する。	生涯学習課	事業 ・デジタル写真教室(全4回 6/26～8/22) ・芸術鑑賞 松竹大歌舞伎(9/2) ・飛騨市俳句大会(10/23) ・飛騨市短歌大会(10/30) ・日展見学(2/3) ・飛騨市芸能祭(3/6) ・文化の薫り展(3/12～3/21) ・その他各支部事業(年間を通じて) 補助金 3,488 千円	成果 ・芸能祭、俳句大会、短歌大会等の継続事業の遂行 ・飛騨市、教育委員会との連携を図り、組織の在り方を検討した。 課題 ・会員の高齢化及び減少による今後の運営体制の検討 ・本部と支部の連携・事業内容の見直し ・サークルの連携強化 方策 会員の減少が著しいため、会員を増やす努力と、同様の事業を各支部で行っているため統一化を図っていく。	B

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化・芸術の推進	地域文化の保存・伝承	市民音楽祭実行委員会補助金 【目的】 飛騨市内の音楽団体が一堂に会し、共に飛騨市の音楽活動の活性化と地域間交流を図り、地域の文化に対する意識の高揚を図る。	生涯学習課	【第5回 飛騨市民音楽祭】 期 日 平成22年10月3日（日） 場 所 飛騨市文化交流センター スピリットガーデンホール 出演数 17 団体出演 内 容 第1部 合唱 第2部 器楽・バンド 第3部 吹奏楽	成果 ・市内の同じ目的を持つ他団体との連絡提携が図られ、団体の音楽活動の推進につながった ・一般市民への音楽文化の啓発につながった 課題 ・古川町・神岡町からの出演団体が、ほとんどであり、河合町・宮川町からの参加がないため、案内等を送り、呼びかけを行う。	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	誰もが親しめるスポーツの推進	体育指導委員会 スポーツ活動指導者の発掘・養成に努めるとともに、資質の向上を図る。	生涯学習課	33名 古川 11名 河合 7名 宮川 6名 神岡 9名 ・市体指代表者会議 各地区から2名 随時開催 ・各地区でスポーツ教室等開催 ・スポーツ指導の派遣 ・モーニングストレッチに替わる新しい体操の開発協議 ・地区体指研修会参加（下呂市） ・東四体指研究大会参加（愛知県） ・全国体指研究協議会参加（岐阜市）	成果 ・随時に代表者会議を開催し、各地区の情報交換を行った。 課題 ・各地区での事業が多く、市体指が全員で行う事業が少ない。 ・企画事業に新鮮味が無い 方策 ・市民のニーズや要求に応えた新規事業の開発が必要とともに、全体で行う事業の開発が必要	B

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	誰もが楽しめるスポーツの推進	体育協会補助金 【基本目標】 「生涯スポーツの更なる推進」 【具体的目標】 ①すべての市民がスポーツに親しむ機会を拡充する ②更なる市民スポーツの振興を目指し、施設の整備と充実に努める。 ③顕彰事業 ④組織の充実	生涯学習課	①各種目において市民スポーツ大会の実施、飛騨地区大会、県民スポーツ大会における選手団派遣を実施。 ②理事会、総会を行い、各支部組織、本部組織の緊密な連携、意思統一を図った。 ③総会においてスポーツ功労者・普及に尽力された市民を称えた。 (平成22年度5名)	成果 - 各支部組織との連携・情報交換を行ったことで体育協会事業が円滑に実施された。 課題 - 支部活動費の分配、各支部における協力金において格差が生じているため統一等の解決策が求められる。 - 各種市民スポーツ大会は一部の愛好者だけが参加するのではなく、幅広く多くの市民が参加しスポーツに親しむ機会がもてるよう工夫が必要である。 - 市民に分かりやすく親しみやすい体育協会となるよう広報活動が求められる。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	誰もが楽しめるスポーツの推進	スポーツ少年団補助金 リーダー、母集団、指導者の育成を行うとともに、各単位団の団員同士の交流を図る	生涯学習課	- 登録団数 27団 - 登録団員 約730名（小1～中3） - 各種目の大会にスポーツ少年団として参加 - 飛騨市スポーツ少年団の事業の他、飛騨地区の事業にも参加 - 団員交流事業（11月20日） 42名の団員が参加しレクリエーションを行った。 - 母集団、指導者育成事業（6月23日） 83名の育成者、指導者が参加し年齢ごとの適切なトレーニングについて学んだ - リーダー育成事業（7月22～23日） 79名の団員が参加し国立能登青少年交流の家で研修をした	成果 - 団員交流やリーダー育成など団員が対象となっている事業には多くの参加者があった - 母集団研修は講義の中で年齢による鍛え方や練習方法、ケガをした時の練習方法の講義もあったため、多くの参加者があった 課題 - 指導者がほとんど替わらないため高齢化している。若い指導者の発掘、育成が必要	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	スポーツイベントの実施	山の村だいこん マラソン（第12回）	生涯学習課	と き 2010年9月19日（日） ところ 山之村牧場 （4コース15部門） 参加者 840名	成果 ・ 市内外の参加者が一堂に会し、マラソンを通して山村と都市の人々の交流が図れた。 ・ 特産品である大根やほうれん草を参加賞とすることで、山之村地区のPRとなった。 ・ バザーで飛騨市特産品を提供することで飛騨市のPRとなった。	A
		標高1,000m の山之村高原を舞台とし、雄大な自然の中でマラソンを楽しむ機会を提供する。		当日は参加者の他にその家族や大会関係者など約1,100名が集った。牧場や地元の方によるバザー、山之村小中学校による催しなどで大会を盛り上げた。	課題 ・ 参加者が昨年と並行であったため、さらに多くの参加者となるよう山之村だいこんマラソンをPRする。	

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	スポーツイベントの実施	スポーツ フェスティバル	生涯学習課	◇飛騨市古川町スポーツ フェスティバル2010（10/11）	成果 ・参加費無料とし、誰でも気軽に楽しめる内容の催しのため好評であった。	A
		【目的】 体育の日にちなんで、 子供からお年寄りまで スポーツを通じた住民 の交流や健康づくりを 目的として開催。		会場：飛騨市森林公園一帯 内容：体力測定・軽スポーツ・ウォークラリーなど。 参加者約 1,610名 関係者約 190名 計 1,800名	課題 ・内容のマンネリ化に伴い来場者が減少しつつあるため、内容の検討・見直しが必要である。	

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
心身の健康と体力づくりの推進	スポーツイベントの実施	元旦マラソン （第40回飛騨市古川町体力づくり） 【目的】 元旦の朝にマラソンをして、新春を健やかに迎えられた喜びと1年の健康づくりを誓う事を目的としている。	生涯学習課	◇第40回記念 飛騨市ふるかわ 元旦マラソン 2011（1/1） 会場：飛騨市古川町市街地 マラソンコース 内容：マラソンイベント。 ただし、タイム計測や順位付けはなし。 【参加者数】 Aコース 402人 Bコース 159人 Cコース 127人 計 688人 スタッフ 48人 総計 736名	成果 ・開会式では、古川中学校駅伝部と中京高校で全国大会へ出選する浅岡選手の紹介、ぎふ清流国体PR等を行った。 ・第40回記念事業としてスタート時の号砲と同時に花火を打ち揚げ大会を盛り上げた。 ・飛騨市古川町体育・スポーツ関係団体から成る「実行委員会」組織にて開催し、一致団結の下、イベントを成功させ、各種団体間の連携を図ることができた。 課題 ・旧古川町時代から続く伝統行事であるが他町で馴染みが薄く、参加者は古川町在住者が殆どであるため、広く市民参加を呼びかけ市内全域より参加者が増える事が課題である。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
スポーツ環境の整備	スポーツ施設の整備	坂下集会施設建設 （更衣室兼会議室、 トイレ） 地域住民の社会教育 に係る学習や文化活 動等の生きがいつく り、生涯学習の拠点と しての利用を図る。	生涯学習課	【実績】 平成22年12月21日 工事着工 平成23年 3月18日 完成 集会施設整備 A=30.25㎡ （宝くじ整備事業）	【成果】 ◎生涯学習の拠点施設としての利用 以外に、隣接する坂下体育館利用者 の更衣室にも兼用でき、更なる利用 が見込まれる。 〈課題〉 ◎過疎化が懸念されるなかで、利用促 進などを図る必要がある。	A

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	地域文化芸術の推進	飛騨市美術展開催補助金 新しい芸術文化の創造を促すと共に地域文化の振興に寄与し、感動豊かで優れた作品を広く募集し、一般に公開する。	文化振興室	- 応募総数 161点（日本画11点、洋画31点、写真39点、書56点、工芸14点、彫刻5点、グラフィックデザイン8点） - 飛騨市美術館で開催 10月30日～11月7日 - 展示期間来場者数 1,308名 - 出品料を1点につき1,000円徴収し、運営した。 補助金 619千円	(成果) - 展示日数を増やした結果入場者が増加した (課題) - 開催日数を増やすほどに、運営委員の参加が得られない。 - 出品数が年々減少傾向にある	B

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 2 年度の目標	担当課	平成 2 2 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化財の保護と保存	指定文化財保護事業の推進	文化財保護修理事業補助	文化振興室	①県指定古川祭り屋台 鳳凰台組屋台 屋根地補強 1,944千円	(成果) 限りある予算の中で、適切に 修繕できた	A
		緊急性及び重要性を要する国、県及び市指定文化財の保護修理保存のために必要となる修繕経費等の一部を補助し、貴重な文化財を後世に残す。		②県指定数河獅子土蔵修復(市単) 1,725 千円 ③市指定寺林宝筐印塔修繕 130千円		

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	指定文化財保護事業の推進	文化財の保護、継承を図るため、文化財の保存等に必要と認める事業を行う団体又は個人に補助する	文化振興室	各保存会事業補助 古川祭保存会 300千円 小萱薬師堂保存会 21千円	(成果) 国指定文化財の適切な保存に努めることができた。	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化財の保護と保存	埋蔵文化財発掘調査事業の推進	遺跡指定区域内で開発事業者が開発を行う場合には、文化財保護法の「発掘の届出」が必要であるが、この基となる遺跡地図が、昭和49年当時の調査により作成されているため、保護法に定める適切な事務処理が行えない状況にあるため、調査を実施し正確な飛騨市遺跡地図を整備する。	文化振興室	・ 22～26 年度にかけて実施する初年度の調査で、古川A地区の調査実施 310 千円	（成果） 他の緊急調査の発生により予定した区域全域の調査が出来なかった	B

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化財の保護と保存	埋蔵文化財発掘調査事業の推進	緊急発掘調査事業 飛騨市内において、大規模な開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在、範囲及び性格を明らかにするためにトレンチ掘削による、遺構の有無及び土層堆積状況を確認する	文化振興室	緊急発掘調査3件 上町遺跡地内、岡前遺跡地内、杉崎廃寺遺跡地内 (事業費) 3,981千円	(成果) 各々の試掘調査により、開発事業への影響の有無を確認することが出来た。	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成２２年度の目標	担当課	平成２２年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化施設の管理と運営	地域文化芸術の推進	飛騨市美術館企画、開催事業	文化振興室	飛騨市美術館の企画展として5回開催 ●中田総一郎展 H223.20～h22.5.9 入館者数 830人 ○上原誠、上原桂子展 H22.6.26～h22.7.19 入館者数 1,716人 ○岐阜県移動美術館「守洞春」展 H22.7.24～H22.8.29 入館者数 1,065人 ○齋藤祝子展 H22.9.11～h22.10.11 入館者数 1,228人 ○みやがわMAN画フェスタ展 H22.11.13～H23.1.10 入館者数 497人 ○第3回飛越交流美術展 H23.3.26～H23.5.8 入館者数 117人 平成22年度企画展 入館者数 5,453人 ＜経費内訳＞ 費用弁償 106,180 消耗品費 141,115 食糧費 18,374 印刷製本費 596,510 運搬費 385,740 物品借上料 12,600 監視業務委託 703,080	(成果・課題) 当初、井上あき子切り絵展を開催の予定であったが、作家の都合により、開催できなくなり、みやがわMAN画フェスタ展の展示で代替した。 限られた予算のなかであつたが市民が親しみ、感動する展示を企画することができた。	A
		飛騨市出身あるいはゆかりの作家の作品を中心にした常設展及び企画展を開催し、美しいものにふれ感動する空間、親しみのある美術館を目指す。				

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化交流施設の 管理と運営	文化交流施設 管理運営事業の 充実	文化交流センター・船津 座自主企画事業補助	文化 振興 室	文化交流センター 自主企画事業 年間9件 共同開催事業 5件 事業費総額 28,443,989円 補助金 14,660,758円 入場料ほか 13,783,323円 船津座 自主企画事業 年間7件 事業費総額 13,870,483円 補助金 10,855,183円 入場料ほか 3,015,300円	(成果) 文化交流センターは、飛騨市の文化振興の核 となる施設として幅広い年代へ質の高い文化 を提供できた。また、鑑賞型事業だけでなく、 市民参加型の事業も実施できた。 船津座は、地域密着、活性を担い、実行委員会 による各種イベントを企画し、幅広い年齢層に 気軽に参加してもらえる事業を実施した。 (課題) 収客数及び集客範囲などの理由から採算 の合う事業の選択は難しい。今後は、2施 設の連携により、イベント内容の再検討、 より一層の効率化が必要である。	B

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成21年度の目標	担当課	平成21年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化施設の 管理と運営	文化交流施設 管理運営事業の 充実	施設改修工事等事業	文化振興室	文化交流センター維持修繕工事 ①屋外監視カメラ増設 798千円 ②小ホール舞台袖アコーディオンカ ーテン 105千円 ③駐車場法面シート被覆 903千円	(成果) (課題) 駐車場法面シートは、十分に 草よけの機能がなされていない	B

様式第 2 号（第 4 条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成 2 2 年度の目標	担当課	平成 2 2 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
町史・通史の編纂	神岡町史編纂事業の推進	神岡町史発行事業	文化振興室	神岡町史「写真編」の発刊 400部 神岡町町史史料目録の発刊 100部 （事業費）1,840千円	（成果） 足かけ 1 6 年にわたる刊行 事業が完了した	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化施設の 管理と運営	地域文化 芸術の推進	飛騨市図書館事業	文化振興室	○編集用パソコン購入 142,800円	(成果)	B
		飛騨市図書館の史料の充実を図るため、飛騨市が保有する映像資産の保全、文化遺産、地域映像の記録をデジタル化し保存する。		○地域の祭礼のDVD記録保存 42件 441,000円 ○神岡町、河合町に残るVHSビデオ映像のDVD保存 54件 105,000円 ○神岡町の指定文化財保存フィルムのデジタル化保存 180件 132,300円	地域の祭礼のDVD記録保存については、消滅しそうな祭礼を優先的に収録した。 (課題) 図書館の収集する郷土資料として、今後も継続して記録保存していく必要がある。	

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成22年度の目標	担当課	平成22年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
ぎふ清流国体成功に向けての取り組み	ぎふ清流国体リハーサル大会にむけた組織体制の整備と広報活動の推進	・ぎふ清流国体の準備を円滑に行い成功させるため、実行委員会の中に専門委員会を設置し、それぞれの運営に関しての方針を定める。 ・国体開催を市民にPRし、ボランティアなどの積極的参加に対する意識の高揚を図る。 ・国体先催県の調査を実施し、飛騨市開催の参考とする。 ・組織体制に万全を期すため、競技役員編成、施設及び競技用具の整備計画を策定する。 ・飛騨市を全国に紹介、発信するため、国体開催市であることを全国にPRする。	ぎふ清流国体推進室	○総務・企画部門、競技・式典部門、輸送・警備部門、宿泊・衛生部門の4つの専門委員会を設置し、それぞれ要領、要項の作成を行った。 ○大会運営に向けての市民ボランティアの公募を行った。 ○国体ホームページの開設、広報紙や市のホームページへの掲載、ミナモ運動講習を受講し各種イベント等での啓発運動の展開など市民への広報活動の推進に努めた。 ○飛騨地域並びに岐阜市内の高校に出向き、競技補助員としての生徒の協力について依頼した。 ○リハーサル大会、本大会に向けた関係団体等との連絡調整に努めた。 ○千葉国体と山口国体プレ大会の視察を行い、飛騨市開催の参考とした。 (千葉国体) 視察期日 9月25日～26日 視察先 千葉市・市原市(サッカー) (山口国体リハーサル大会) 視察期日 10月14から16日 視察先 山陽小野田市(サッカー)	○実行委員会が組織化され、それぞれの専門委員会を開催し、委員会ごとに大会要領や要項の作成を行い、総会において承認をいただいた。今後、この要項等に順次国体に向け準備を進めていく必要がある。 ○職員や緊急雇用創出事業での臨時職員の採用により、ミナモ運動養成講習会に参加し市内保育園児や保育士を始め、各種団体や市内小学校行事等での啓発運動を行いました。 市内保育園の保育士、園児全員がミナモ体操を習得してもらう事が出来た。 ○平成23年度のリハーサル大会開催に向け、具体的な施設整備計画や予算経費の算定をおこなった。 ○競技補助員の確保について飛騨地内の各高等学校、県内の高等学校に依頼し補助員の確保を図った。 ○千葉での本大会、山口でのリハーサル大会の視察により、会場設営や運営状況等について飛騨市開催の参考とする事が出来た。	A

様式第3号（第4条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成22年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
課 題 安全・安心な教育環境の整備 小学校施設改修事業 古川西小学校 ・校舎耐震補強工事 国補正事業により発注まで行ったが、工事は繰越で予定工期は平成22年12月。	C	・耐震工事を完了	・工事の完了により、校舎の耐震性能が確保され安全性が高まった。また併せて実施した大規模改造により、快適性も高まった。	A
山之村小中学校 ・校舎耐震補強工事 国補正事業により発注まで行ったが、工事は繰越で予定工期は平成22年8月。	C	・耐震工事を完了	・工事の完了により、校舎の耐震性能が確保され安全性が高まった。	A

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

様式第 3 号（第 4 条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成 22 年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
課 題 安全・安心な教育環境の整備 中学校施設改修事業 古川中学校 ・北舎改築工事 国補正事業により発注まで行ったが、工事は繰越で予定 工期は平成 23 年 3 月。	C	・改築工事を完了	・工事の完了により、校舎 の耐震性能が確保され安 全性が高まった。	A
神岡中学校 ・南舎耐震補強・大規模改造工事 国補正事業により発注まで行ったが、工事は繰越で予定 工期は平成 22 年 12 月。	C	・耐震工事を完了	・工事の完了により、校舎 の耐震性能が確保され安 全性が高まった。また併 せて実施した大規模改造 工事により、快適性も高 まった	A

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。

様式第3号（第4条関係）

前年度点検評価結果への対応状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

前年度の点検評価において課題とされた事項	前年度 の評価	課題に対する平成22年度の取り組み状況		
		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
指定文化財保護の推進 文化財の保護、継承を図るため、文化財の保存等に必要と認める事業を行う団体または個人に補助する。 課 題 江馬遺跡保存会補助金については、平成21年度を最終年度として、草刈り委託料のみ支払うこととなった。	C	古川祭保存会 300千円 小萱薬師堂保存会 21千円	江馬館保存会への補助はとりやめ、草刈りの委託料支払いのみとした。 委託料 120千円 廃止補助金 21千円	A

注：「前年度の点検評価において課題とされた事項」の欄は、前年度の報告書に記載された課題を転記すること。